

2015年5月8日(金曜日)の下野新聞に ネパール支援について紹介されました

パン500食ネパールへ

パン・アキモト 月内にも発送

那須塩原

大地震で甚大な被害を受けたネパールを救援しようと、那須塩原市東小屋のパン製造販売「パン・アキモト」は7日までに、同社製品「パンの缶詰」と「救缶鳥」計4170缶(5250食分)を現地に送ることを決めた。海外在住ネパール人会(東京・新宿区)を通し、月内にも第1弾支援として届ける。

飢餓対策支援活動に取り組む同社は、災害時保存食として企業や個人が購入した賞味期限3年のパン缶詰「救缶鳥」を2年間の備蓄後に更新、回収している。同社は4月、大型サイクロンで大きな被害を受けた南太平洋の島国バヌアツに缶詰を送ったばかり。在庫が少なかったため、5〜9月に更新時期を控える約350の企業や団体、個人に更新前倒しの協力を呼び掛け、5千食超を確保した。海外在住ネパール人会に

よると、現地の救援物資受け入れ態勢はまだ混乱しているという。

同会国際委員会のタパ・



倉庫内に積み上げられたネパール向けの救援物資。那須塩原市東小屋

「アキモトの協力に心から感謝している。この善意を必ずネパールに届け、日本人との絆を強めたい」とし、同社の秋元義彦社長は「スピード感を持って対応できるのが民間の強み」と話している。

(青柳修)